

農村伝道神学校学報

学校法人鶴川学院
農村伝道神学校
発行人：ロバート・マウ
ウィットマー

安全保障関連法廃止！
辺野古新基地建設反対！

農伝デー講演

二〇一九年一〇月一九日

子どもと大人が共に守る礼拝
―― 神の国がここに！――



竜ヶ崎教会牧師 飯塚拓也

『大人の好きな子どもたち』 子ども
もの好きな大人たち』、竜ヶ崎教
会の案内看板に書かれている言葉
です。



竜ヶ崎教会は、子どもたち
によって変わりました。たと
えば「ルビ付きの週報」で、
週報の漢字には必ずルビがふ
つてあります。「子どもも読め
る週報を」で始めたことでし
たが、始めてすぐに「ルビの

ない週報は、漢字を読めない
人を忘れた礼拝をしてきたの
では？」に気づかされました。
きっかけは、牧師館の子ど
もたちでした。彼らは生まれ
てすぐに礼拝に出席します（さ
せられる、といったほうがい
いかも）。ですから、牧師館の
子どもたちこそ、教会で受け
入れられる必要があります（牧
師の子どもにも生まれた、私自
身の原体験もありました）。
その頃、牧師家庭と同じ世代
の夫婦も幼子をつれて礼拝に
出席していました。そこで、
礼拝の中で「子どものための
祈り」を行うようになり、さ
らに子どもへのメッセージも
となって、少しずつ礼拝の形
が変わっていきました。

そして、竜ヶ崎教会の創立
百周年を機会に「竜ヶ崎教会
宣教基本方針（竜ヶ崎の地に
おいて、生ける主の体の教会
を、作り出す）」を定め、その
中で、子どもについてこのよ
うな方針を確認することとな
りました。
「主の体としての教会の枝に
は、子どもから大人までがつ
らなる。誰一人として枝でな
いものはいないし、みんなが
主の共同体を構成する一員と
なる。子どもから大人までみ
んなで一つの体であることを、
主によって絶えず確認しつづ
進む」。

この方針によって、「子ど
もと大人が共に守る礼拝」に
いよいよ取り組むこととなり
ました。この時に、竜ヶ崎教
会の方向がはっきりと定まっ
たと、今振り返って思います。
よく「合同礼拝」を聞くこと
がありますが、それは「普段
は別々」が前提となっている
ことです。竜ヶ崎教会は、「合
同」ではなく「共に」をはっ
きりとしました。これはとて
も大事なことでした。この方

針が定まってからは、礼拝の
形が変わることに対して、「ま
ずやってみよう。やってみて
課題があればそこで考え直せ
ばよい」となりました。教会
は議論も検討も大事にします
が、話し合うばかりで実際に
なかなか変わらないというこ
とがあるのでしよう。竜ヶ崎
教会もそういう傾向がありま
した。しかし、「まずやってみ
よう」が定着することによっ
て、教会自体が変えられてい
きました。

「子どもと大人が共に守る礼
拝」の取り組みは、「子どもた
ちを、礼拝で育てよう」で検
討を重ねました。「子どもたち
が育つ礼拝にしよう」を大切
にし、そのために、「子ども自
身が、礼拝に参加している実
感」を大切にしました。

このため、祈りは「リタニー」
が中心となります。リタニー
は「応答」の部分があります
ので、それによって「受け身
ではない祈り」が実現します。

同じように、それまでしてい
なかった「詩編交読」も礼拝
に組み込みました。讃美歌は、
こどもさんびかやツマ・ミナ
を積極的に取り入れ、子ども
が理解しやすい歌詞を意識し
て選びます。また、ハレルヤ
やグロリアなど、短い讃美
歌をリタニーや詩編交読と組
み合わせ、礼拝の流れを大切

にしました。これらによって、
「主體的な礼拝への参加」が生
まれました。ルビ付きの週報
と合わせて、パワーポイント
をスクリーンに映し、顔をあ
げて礼拝に参加することもし
ています。

「自己申告制の礼拝分担」も
生まれました。礼拝当番表は
日程と役割だけ書いてあって、
あとは空白です。「自分のし
たい分担を、自分のできる日に」
と、各自で記入してもらいま
す。そうしたら、子どもたち
が積極的に分担に加わるよう
になりました。礼拝の司会も、
聖書朗読も、詩編交読も、献
金も、PCの操作も、子ども
たちが行っています。奏楽と
受付以外は、子どもが担当し
ています。ちよつと想像して
いただきたいのですが、子ど
もたちが礼拝の大事な役割を
になう姿は、実にイキイキと
しています。

マルコによる福音書一〇章
一四節に、「子供たちをわた
しのところに来させなさい。妨
げてはならない。神の国はこ
のような者たちのものである」
とあります。ここに、「神の国
の先取り」が示されていると
思うのです。「神の国はネ、き
つとこんなところなんだよ！」
と、イエスは教えたものではな
いでしょうか。教会は「神の
国がここに！」を指し示した

めに存在し、そして、「礼拝こそ、神の国の先取り」だと思っています。

これからもきっと、「子どもと大人が共に守る礼拝」は変化を続けることでしょう。その時その時の礼拝を形成する人たちによって、礼拝は変わっていくのです。教会によって「子どもと大人が共に守る礼拝」がそれぞれの形をもっているでしょう。所と人が変われば、礼拝は変わるはずで

農伝の仲間のみなさんへ

ジェニファー・ジャンセン・
ボール&ジュリー・グラハム
一月一五日〜二月五日まで
日本在住



ジュリーさん (左)、ジェニファーさん (右)

カナダに戻ってから一ヶ月が経ちました。みなさんに会

えなくて寂しいです。

これを書いてある時に、イランのテヘランで飛行機が空爆され、カナダ人六三人が亡くなり、カナダは悲しみにつつまれています。多くの人はイランにルーツを持つカナダ人でした。年齢は様々でしたが、彼らは異なる文化と経験をつなぐ橋となり、カナダに豊かさを与えました。彼らの人生を考えると、この事件の無意味な暴力と戦争の脅威を止めなければなりません。そして教会はどのようにすれば平和を作り出すことが出来るかを問わなければなりません。

この機会に農伝のみなさんと共に過ごした二週間の温かい歓迎と深いもてなしのために感謝します。私たちは日本、日本基督教団、日本の農村、また皆さんが示してくれた存在感と献身についてまだまだ学ばなければならぬことがたくさんあります。みなさんと共に過ごした日本での時間が私たちの心に残っています。みなさんと分かち合った食べ物、礼拝、また言葉のために感謝します。長い間、住む所と食べ物を分かち合った圭子さんとロブ先生にも特別に感謝します。

私たちはカナダに戻り、カナダ合同教会の仕事をしている今、日本とカナダについて

の次のような共通点を振りかえっています。

私たちのルーツも地方です。農業と漁業が土台です。しかし、日本もカナダもこの七〇年間地方の人口が徹底的に減り、今は完全に少数者です。農民の高齢化も進んでいるし、そして多くの若者は農地を買うことが出来ません。それでも地方の文化は大切であり、農村地域の課題は気になります。農伝の畑を訪ねて、またアジア学院の畑で働いた時、すべての国境を超える大地によるつながりを感じました。

先住民民族は隅に追いやり、そしてその土地と文化の権利は尊重されていません。先住民民族ではない私たちは、三愛精神が教えるように、土を愛するなら北海道にいても、サスカチュワンにいても先住民民族を愛し、尊敬することが私たちの求められているのではないのでしょうか。

両方の国では、ヘイト・スピーチが大きな問題になっています。カナダは以前からそれに対する法律が執行されていますが、宗教団体には憎しみを含む信仰が許されています。ヘイト・スピーチをする団体が使える場所を制限しても、少数者である私たちに向けられる憎しみの声が特にオンラインで届きます。そして、

その憎しみの目的は、憎しみの差別をより当たり前のことにしようとしています。このような団体は一般の人と違って極端だから気にしなくてもいいと考えてしまう可能性があります。自分たちが気にしなくてもいいし、小さなグループだから気にしなくてもいいと思っても憎しみは広がります。私たちはマイノリティ宣教センターで見たビデオと在日韓国・朝鮮人に対する憎しみを忘れません。憎しみを無くさなければならぬという日本のパートナーからの警告だと思っています。

カナダも日本も過去の戦争、暴力、植民地主義、他の民族に対する不正の課題をもっていると思います。カナダの場合、これは第二次世界大戦の強制収容所、人種差別を含む政府の政策、またカナダ合同教会と他の多くの教会が参加した先住民の土地を奪い、文化を「殺す」活動です。WAM(アクティブ・ミュージアム「私たちの戦争の平和と資料館」)またNCCJ(日本キリスト教協議会)の平和教育センターのように私たちの教会は勇気をもってこの課題に取り組むことが求められていると思います。

この他に教団とカナダ合同

教会の共通点があって、お互いに学び合うことがあると思います。

LGBTQIAの人々とその権利について: 教会はLGBTQIAの人々を大切に受け入れるために

の神学と社会の捉えかたを考え、イエスが私たちを愛するように私たちがお互いに愛し合うためにまだまだしなげばならないことがあります。マイノリティ宣教センターでLGBTQIAの人々と正直に分

かち合う時を持ちました。「すべての人を歓迎します」と言うのは簡単ですが、それを実際に具体的に生きることが私たちに与えられた課題です。キリスト教がどのようにLGBTQIAの人々を虐げるために聖書を利用してきたかの歴史を学ぶ必要があります。それと同時に現代の日本とカナダのLGBTQIAの文化と現状について学ばなければなりません。



マイノリティ宣教センターでLGBTQIAについての話し

※LGBTQIAとは

ジュリーさんとジェニファさんは性的マイノリティを示す頭文字をLGBTの4文字に収めず、LGBTQIAを用いている。

LGBTはレズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダーの頭文字であり、性的マイノリティの総称として用いられることが多いが、L、G、B、T以外にもさまざまな性のあり方があるというを示すために、また、それぞれに異なる課題があるL、G、B、Tを一緒くたにしてしまわないために、Q（クイア／queer。かつて「変態」という意味で差別的に使われていた言葉だったが、性的マイノリティたちがそれに積極的な意味を持たせ、当事者同士の連帯を生む言葉として肯定的に使い出した語）を加えることが多くなった。（Qについては、模索中（クエスチョニング）という意味で用いている人もいる）。

さらに、I（インターセックス／intersex。性染色体の構成、生殖腺、解剖学的な性の発達などが、生物学的に非定型の状況の人。地域によっては差別・抑圧の対象となっているが、日本では、『性分

化疾患』という疾患であって、性の多様性（バリエーション）の一つとしては扱ってほしくない」と主張する人も多い）や、A（アセクシュアル／asexual。性的指向が女性にも男性にも向かない人、状態）を加えることもなされている。文責・平良愛香（解放講座C「性差別」担当教師）

教育…農村伝道神学校で、信徒牧師制度について多くの人が関心を持ち、たくさんの人と話し合うことが出来て本当に感謝します。ジェニファは牧師になるのに修士の学位は必要ないということを知って興味を持ちました。カナダ合同教会の場合、按手礼を受けるのに必要だからです。これはカナダ合同教会にとって興味深い、また大事な課題だと思っています。教会の働きへの道をこれからも求めなければならぬと思います。



カナダ合同教会信徒牧師制度についての話し

少数者であること…無宗教の

人が増える中で、日本の教会から社会の少数者であることについてたくさんの方を学ぶことが出来ます。日本ではキリスト教が最初に来た時からこの状況です。カナダではこれが新しい状況で、そして私たちは苦悩しています。カナダで、カナダ合同教会またキリスト教そのものが少数者になる中で、過去の植民地支配者的な力を持たない教会のありかたについて多くの事を学ばなければなりません。キリスト教は怪しく狭いと思っっている社会の中で、私たちはどのようにカナダ合同教会について分かち合いをすればいいのでしょうか。

日本基督教団はカナダ合同教会も含めて世界中に宣教師を派遣していることは嬉しいことです。私たちは与えること、また与えられることによってもっと学びたいです。ですからこれからもカナダ合同教会の人々が農伝、教団、マイノリティ宣教センター、大



と拝さん、ジェニファさん、ジュリーさん

韓基督教会、NCCJ.WAM、またアジア学院とつながることに応援します。共にあるキリストの体を通してこんなに豊かなつながりがあることは祝福です。また会いましょう。

アドベント礼拝の報告

一年生 座間直哉

二月六日金曜日、農村伝道神学校チャペルでアドベント礼拝が行われました。この日の礼拝は「ブルー・クリスマス」、心の痛みを抱えた人たちのためのクリスマスとして捧げられました。出席者には涙型のオーナメントが配られ、礼拝終了後、退堂の時に礼拝堂出口の木にそれぞれが吊るします。自分の苦しみを神さまに差し出すという意味がありました。



神様に差し出す涙

礼拝では、カナダ合同教会の信条が用いられました。また、イエスの生まれたところの聖書箇所を読み、ウィットマー校長が登場人物の痛みについての話をし、そして黙想と讃美歌。これを繰り返す形

での礼拝でした。読んだ聖書箇所は、イザヤ書二五・八、九、マルコ一・二三、マタイ一・一八、二五、ルカ二・二七、三五、歌った讃美歌は、「久しく待ちにし」「ヨルダンの岸で」「ああ、ベツレヘムよ」「きよしこの夜」です。ブルー・クリスマス礼拝とは、大切な人を失った方々や人間関係で苦しんでいる方々、深い悩みを持つ方々へ、孤独ではないことを知ってもらうための礼拝であり、また自分自身の苦しみを神さまに差し出す礼拝です。この礼拝の準備をなさった方、来て頂いた方、ありがとうございました。

神様、今苦しんでいる方をどうか助けてください。痛みを無くしてください。神さまの支えが必要です。どうかお願いします。

追悼……

雨宮栄一、國安敬二、本田栄一の先生方に感謝します。

理事長 禿準一

二〇一九年度のこの年、農村伝道神学校に深く関わりのある三人の先生を天に送りしました。

少し前の二月一〇日に、キリスト教教育の講師でありシオン幼稚園の園長、本田栄一

先生を、昨年の八月に雨宮栄一先生その二ヶ月後に、國安敬二先生を天に送りしました。神学生時代を雨宮、國安の両先生は、同じ教会で過ごしたと言われます。お二人は終生の友であり、同じ時期に共にわが校の教師でした。お二人の神学教育は今日までのわが校の神学教育の方向性に影響を与えました。お三人とも農伝の卒業生ではありませんが、卒業生のように、いやそれ以上に農村伝道神学校を愛し、支えてくださいました。

生前の雨宮先生にお会いするたびに「農伝をタノムよ」と言われ、理事長も務めた國安先生からは、まるで現役の理事長のように本校の経済的な困難を心配する電話を、何度もいただきました。雨宮先生も教師の後、理事をなさいました。二〇年ほど前の「学校の再建委員会」で、お二人が農伝神学校のために熱く語っていた姿が目に残ります。雨宮先生は数年前、葬儀にあたる感謝会・お別れ会を開き農伝からは私も招かれました。國安先生はご自分が開拓伝道された幕張教会で、本田先生の葬儀は、父上清一牧師が本校創立時の教師の一人でもあり、その出発の神学校の校舎から始まった、日野市の日野台教会で行いました。

—— 2021 年度入学案内 ——

◆受験資格

- (1) 日本基督教団に限らずプロテスタント教会に所属し、原則として受洗後1年以上(洗礼式を行わない教派については、それに準ずる)の教会生活をしている者。
- (2) 所属教会が推薦し(可能であれば)、高卒または同等以上の学力を有すると認められる者。

◆修業年限

- 神学基礎コース：2年間(2年間で修了することも可)。
- 基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。
- 神学専門教職者養成コース：2年間
- 神学専門信徒宣教師養成コース：1年間または2年間

◆学費

- 入学金 60,000 円(入学時のみ)
- 授業料 240,000 円(年額)
- 設備費 30,000 円(入学時のみ)

◆受験手続

- 次の書類を期日までに郵送または持参する。
- (1) 入学願書(本校指定の書式)
 - (2) 履歴書(本校指定の書式)
 - (3) 教会(牧師または役員会)の推薦書(可能であれば)
 - (4) 最終学校卒業証明書(または卒業見込み証明書)
 - (5) 受験料 10,000 円(振り込み)

◆入学願書受付

- 第1回 2020年10月6日(火)～11月6日(金)
- 第2回 2021年1月5日(火)～2月5日(金)

◆入学試験日時

- 第1回 2020年11月17日(火) 午前9時～午後3時
- 第2回 2021年2月16日(火) 午前9時～午後3時

◆会場 本校教室

◆入学試験科目 (1) 小論文 (2) 旧約聖書・新約聖書 (3) 面接

◎入学願書一式、過去の試験問題集は、本校事務室まで請求ください(無料)。

農村伝道神学校

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024

Tel 042-735-5775 Fax 042-735-5711

Eメール: noden@pony.ocn.ne.jp

ホームページ: <https://noden.ac.jp/>

振替番号

農村伝道神学校 00160-6-18485

農村伝道神学校後援会 00120-6-24418

理事・評議員会報告

この数年は毎年、教会で「農伝デー」を開いてくださっていました。葬儀の司式は高柳前校長、説教は禿でした。葬儀の時、講壇横の祈禱室の壁に、七二年前の農伝の開校式、学生たちの農場での働きなどの写真が沢山貼ってありました。私は先生の努力に驚きました。卒業生ではない先生方のわが校への熱意に励まされます。感激し感謝の思いで一杯です。

鶴川シオン幼稚園の本田栄一園長が二月一日に天に召された。本田園長は二〇一五年四月に就任され、困難だった本園の「認定こども園」化に尽力された。新園長については、常務理事会を詮衡委員会として選考に入り、決定

学事報告

するまで園長を禿理事長が兼務することを決定した。七〇周年記念委員会は七〇年記念誌(紀要として)の編纂作業が最終段階になり、今年度中の発行を目指している。また神学校の今後の体制を検討している将来計画委員会は学生寮だった「浮き輪寮」の保存と活用の可能性について、建築家の意見を聞くときを持つ。次回理事会評議員会は三月二三日午後三時から生田教会で開催される。

◆一月二六日(火) カナダ合同教会信徒牧師制度について公開講演会
ジェニファー・ジャンセン・ボール

◆一月二六日(金) アドベン

ト礼拝「ブルークリスマスー心の痛みを抱えた人のためのクリスマス」

◆一月一〇～一一日 集中講義「こどもと教会」大澤秀夫

◆一月一二～一三日 集中講義「東方教会」濱田華練

◆一月一六～二二日 集中講義「接心」佐藤研

◆一月三〇日(木) 農村伝道シンポジウム「時がよくても悪くてもーアジア学院の創設とその後」菊地創

◆二月五～七日 集中講義「解放講座A 部落解放講座」小林明

◆二月一二日(水) 卒論発表会

◆二月一八日(火) 二〇二〇年度第二回入学試験(合格者三名)

◆二月一九日(水) ハラスメント学習会

◆二月二五～二八日 集中講義「日本宗教史」戒能信生

お知らせ

◆三月四日(水) 第七〇回卒業式

◇三月二五日(水) 八時～二八日(土) 四時

短期目主接心(佐藤研)は中止

◇四月一日(水) 午後一時三〇分より第七二回入学式

メッセージ・R・ウィット

マール校長

◇四月二日(木) オリエンテーションと始業講演

午後一時～始業講演(公開)

講師…山野貴彦(本校講師)

◇四月三日(金) 九時～四時

禪キリスト教オリエンテーション(佐藤研)

四月の入学式、オリエンテーション等の行事は変更になる可能性があります。最新情報は事務所ホームページにてご確認ください。